

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みにになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインと其中的漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

尋常性疣贅診療ガイドライン 2019 (第 1 版)

日本皮膚科学会尋常性疣贅診療ガイドライン策定委員会

発行年月日 2019 年 5 月 20 日

Minds 掲載 有

Strength of Evidence

I: システマティック・レビュー/メタアナリシス

II: 1 つ以上のランダム化比較試験

III: 非ランダム化比較試験

IV: 分析疫学的研究 (コホート研究や症例対照研究)

V: 記述研究 (症例報告や症例集積研究)

VI: 専門委員会や専門家個人の意見

Strength of Recommendation

A: 行うよう強く勧められる (少なくとも 1 つの有効性を示すレベル I もしくは良質のレベル II のエビデンスがあること)

B: 行うよう勧められる (少なくとも 1 つ以上の有効性を示す質の劣るレベル II か良質のレベル III あるいは非常に良質のレベル IV のエビデンスがあること)

C1: 行うことを考慮してもよいが、十分な根拠がない (質の劣るレベル III~IV、良質な複数のレベル V、あるいは委員会が認めるレベル VI)

C2: 根拠がないので勧められない (有効のエビデンスがない、あるいは無効であるエビデンスがある)

D: 行わないよう勧められる (無効あるいは有害であることを示す良質のエビデンスがある)

■1ヨクイニンエキス

疾患:

疣贅

CPG 中の Strength of Evidence:

B: 行うよう勧められる (少なくとも 1 つ以上の有効性を示す質の劣るレベル II か良質のレベル III あるいは非常に良質のレベル IV のエビデンスがあること)

引用など:

- 1) 三石剛. いぼの内服療法. *Monthly Book Derma* 2005; 97: 53-61.
- 2) 江川清文. 疣贅治療考. *Monthly Book Derma* 2012; 193: 1-8.
- 3) 別府邦英, 水橋悦子, 山村博彦, ほか. ヨクイニンエキス散・錠の使用成績調査ー尋常性疣贅および青年性扁平疣贅に対する有効性、安全性および有用性の評価ー. *医学と薬学* 1996; 36: 69-90.
- 4) 山田義貴, 今岡千治, 出来尾哲, ほか. 青年性扁平疣贅および尋常性疣贅に対するヨクイニンの有用性の検討. *西日本皮膚科* 1993; 55: 106-11.
- 5) 三露久生, 茶谷孝治, 林進. 尋常性疣贅におけるヨクイニンの年齢別による有効率の検討. *病院薬学* 1990; 16: 255-9.

有効性に関する記載ないしその要約:

『CQ18 ヨクイニンエキス内服は有効か?』に対して、下記の記載がある。

『推奨文: 疣贅にヨクイニン内服療法を行うことを推奨する。

解説: ヨクイニンはハトムギの種皮を除いた成熟種子を乾燥した生薬であり、アジア諸国で主として使用され、本邦では保険適用を有する。いくつかのケースシリーズスタディー、症例報告で疣贅に対するヨクイニン内服の有効性について論じられたり、まとめられたりしている。別府らは、全国市販後調査を日本全国 155 医療施設で行った。結果として、疣贅において、627 例中 236 例で疣贅消失、511 例で改善以上の結果を得た。

ケースシリーズスタディーとして、山田らによると、疣贅 15 例中、投与後 4 週での改善率は、改善以上で 21.4%、8 週で 50.0%、12 週で 66.7%であった。安全性では下痢の 1 例を除き、14 例で安全と判断された。三露らは、ヨクイニン内服の有効率を年齢階層別に比較した。結果として、乳幼児、学童、青年、成人でそれぞれ有効率 71、74、57、20%と、若年での有効率が高い一方、成人では低いことが示されている。投与量は成人で 1 日 18 錠あるいは 3～6 g を分 2～3 で内服させる。24 錠までの増量も可能である。小児では用量調整する。』

副作用に関する記載ないしその要約:

『副作用としては扁平疣贅も含めた 914 例中 13 例でみられたが胃部不快感、下痢などの消化器症状やかゆみなどの軽微なもののみであった。』

備考:

疣贅治療一覧の表中に、下記の記載がある。

免疫学的治療法: ヨクイニンエキス内服、推奨度: B、関連する CQ: CQ18、解説: 成人は 18 錠、3～6g/日内服、小児は成人の半量を内服。保険適用あり。

■2 ヨクイニン

疾患:

尋常性疣贅、足底疣贅、多発性疣贅、小児の疣贅

備考:

各アルゴリズムの中にヨクイニンの記載がある。

疣贅治療アルゴリズム、足底疣贅治療アルゴリズム、多発性疣贅治療アルゴリズム、小児の疣贅治療アルゴリズム